

(R5.6 法務省民事局)

定款認証に関する実態調査結果（速報値）

※令和5年6月20日時点の集計の途中経過。

発起人・専門資格者から紙媒体で回答されたものは計上未了。

今後、規制改革実施計画に従い、本年度中の評価・検討・結論に向け、調査結果の集計・分析を進めていく予定。

＜調査の概要＞

- 一定期間中（R5.1.16～R5.3.31）の全ての定款認証事件を対象に、公証人と利用者（発起人・専門資格者）双方からアンケート調査を行ったもの。
- 回答総数
 - 公証人に対するアンケート 21,783 件
 - 発起人に対するアンケート 1,649 件
 - 専門資格者に対するアンケート 3,579 件
- このほか、補完的に、過去の業務経験についてもアンケート調査を実施。

＜公証人からの回答の概要＞

1 認証した事案についてのアンケート

■ 定款の種別

電子定款 19,620 件 (90.8%)

紙定款 1,979 件 (9.2%)

■ 面前確認の方法

公証役場への来庁 19,538 件 (90.5%)

ウェブ会議システム 2,061 件 (9.5%)

■ 面前確認は公証人自身が行ったか

はい 21,599 件 (100.0%)

いいえ 0 件 (0.0%)

■ 嘱託人の属性

発起人本人 2,124 件 (9.8%)

弁護士・弁護士法人 552 件 (2.6%)

司法書士・司法書士法人 11,999 件 (55.6%)

行政書士・行政書士法人 6,664 件 (30.9%)
その他 260 件 (1.2%)

■ 面前確認を受けた方の属性

嘱託人本人 11,219 件 (51.9%)
嘱託人以外の人 10,380 件 (48.1%)

■ 面前確認を受けた「嘱託人以外の人」の具体的な属性

設立しようとする法人の関係者（発起人を含む） 3,746 件 (36.1%)
専門資格者の関係者（事務所職員を含む） 6,398 件 (61.6%)
その他 236 件 (2.3%)

■ 嘱託人から提出された定款案への指摘の有無

あり 9,702 件 (44.9%)
なし 11,897 件 (55.1%)

→ 具体的な指摘内容の例は、別添の 1 のとおり

■ 実質的支配者の申告についての指摘の有無

あり 3,881 (18.2%)
なし 17,485 (81.8%)

■ 申告受理証明書の交付の有無

あり 21,066 件 (98.6%)
なし 300 件 (1.4%)

■ 申告受理証明書の交付通数

1 通 20,526 件 (97.4%)
2 通 456 件 (2.2%)
3 通 69 件 (0.3%)
4 通以上 15 件 (0.1%)

2 認証に至らなかった事案についてのアンケート

■ 件数

期間中に相談・嘱託があったが認証に至らなかったもの 184 件

(注) 本件調査において計上することが相当でないもの(公証人による認証が不要のもの(合同会社の定款等)、管轄外のもの、資格者に依頼して嘱託しなおすこととしたもの、誤りがあり取り下げたが訂正の上で再度嘱託されて認証に至ったもの、予約日時の都合により別の公証役場に嘱託することとなったもの、調査期間経過後に認証に至ったことが現時点で判明しているもの等)を除くと、認証に至らなかったものは、99件。

- 認証に至らなかった理由や具体的な経緯
別添の2のとおり

3 過去の業務経験についてのアンケート

- これまで不正な起業が疑われる事案があったか。
あった 46人(9.9%)
なかった 421人(90.1%)

→ 具体的な事案の概要の例は、別添の3のとおり

<発起人からの回答の概要>

- 定款の種別
電子定款 1,220件(74.0%)
紙定款 429件(26.0%)
- 定款案の作成方法(複数回答可)
専門資格者に任せた 873件(52.9%)
専門資格者以外の人に相談した 74件(4.5%)
公証役場から提供を受けた資料を参考にして作成した 93件(5.6%)
民間事業者の提供するインターネット上の定款作成サービスを利用した
536件(32.5%)
定款作成サービス以外のインターネット上の情報を参考にして作成した
165件(10.0%)
書籍を参考にして作成した 131件(7.9%)
その他(例:知人の会社の定款を参考に作成した、グループ会社の定款を
参考に作成した等)

- 定款案についての指摘の有無
 - あり 367 件 (32.2%)
 - なし 772 件 (67.8%)
 - 専門資格者等に任せていたため分からない 510 件

- 面前確認を受けた方法
 - 公証役場に来庁 1,040 件 (95.7%)
 - ウェブ会議システムを利用 47 件 (4.3%)
 - 専門資格者等に任せていたため分からない 562 件

- ウェブ会議システムを利用しなかった理由 (複数回答可)
 - 紙で定款を作成したから 371 件 (35.7%)
 - ウェブ会議システムを利用して手続きができることを知らなかったから 314 件 (30.2%)
 - ウェブ会議システムの操作が面倒だから 43 件 (4.1%)
 - ウェブ会議システムを行うための環境 (パソコン等) がないから 10 件 (1.0%)
 - 公証役場に行くことは特段負担でないから 471 件 (45.3%)
 - 公証役場又はその周辺に別の用事があったから 58 件 (5.6%)
 - 直接公証人と顔を合わせてやりとりしたいから 173 件 (16.6%)
 - その他 (例:資料の郵送に時間がかかるので公証役場に持参して手続きをした方が早いため。定款作成サービスの中で公証役場に行くよう案内があったため。等)

- 公証役場での待ち時間はどれくらいでしたか。
 - なし 476 件 (45.8%)
 - 5分 152 件 (14.6%)
 - 10分 146 件 (14.0%)
 - 15分 98 件 (9.4%)
 - 20分 74 件 (7.1%)
 - 25分 19 件 (1.8%)
 - 30分 50 件 (4.8%)
 - それ以上 25 件 (2.4%)

- ウェブ会議システムを利用した理由 (複数回答可)
 - ウェブ会議システムの方が便利だから 43 件 (91.5%)
 - その他 (例:遠方のため。ウェブ会議システムを案内されたため。等)

- ウェブ会議システムをスムーズに利用できたか
できた 43件 (91.5%)
できなかった 4件 (8.5%)

→ スムーズに利用できなかった事案について、例えば、以下のような回答があった。

- ・ 発起人側の音声が発証人に聞こえなかった。
- ・ 発起人側のカメラが反応しなかった。

- 面前確認は公証人本人が対応していたか
はい 1,041件 (95.8%)
いいえ 14件 (1.3%)
分からない 32件 (2.9%)

- 面前確認の所要時間
5分 394件 (37.9%)
10分 248件 (23.8%)
15分 166件 (16.0%)
20分 139件 (13.4%)
25分 25件 (2.4%)
30分 93件 (8.9%)
それ以上 22件 (2.1%)

- 面前確認の予約は、希望どおりの日にとることができたか
できた 1,010件 (92.9%)
できなかった 54件 (5.0%)
予約を行わなかった 23件 (2.1%)

- (希望どおりの日にできなかった場合) 何日後になったか
1～3日後 33件 (61.1%)
4～6日後 12件 (22.2%)
7～14日後 9件 (16.7%)
15～21日後 0件 (0.0%)
22日以上後 0件 (0.0%)

- 実質的支配者の申告についての指摘の有無

あり 82 件 (5.0%)
なし 1,034 件 (62.7%)
申告対象外 44 件 (2.7%)
専門資格者等に任せていたため分からない 489 件 (29.7%)

■ 申告受理証明書の交付の有無

あり 688 件 (41.7%)
なし 319 件 (19.3%)
専門資格者等に任せていたため分からない 598 件 (36.3%)

■ 申告受理証明書の交付通数

1 通 506 件 (73.5%)
2 通 148 件 (21.5%)
3 通 30 件 (4.4%)
4 通以上 4 件 (0.6%)

■ 申告受理証明書の提出先 (複数回答可)

金融機関 628 件 (91.3%)
その他 (例: 税理士、地方自治体 等)

■ 申告受理証明書の交付を請求しなかった理由 (複数回答可)

証明書を使う予定がなかったから 108 件 (33.9%)
そのような制度があることを知らなかったから 223 件 (69.9%)

<専門資格者からの回答の概要>

■ 回答者の属性

弁護士 22 件 (0.6%)
司法書士 2,312 件 (64.6%)
行政書士 1,245 件 (34.8%)

■ 定款の種別

電子定款 3,482 件 (97.3%)
紙定款 97 件 (2.7%)

■ 定款案についての指摘の有無

あり 1,313 件 (36.7%)
なし 2,266 件 (63.3%)

■ 面前確認を受けた方法

公証役場に来庁 2,716 件 (88.6%)
ウェブ会議システムを利用 351 件 (11.4%)
発起人に任せていたため分からない 512 件

■ ウェブ会議システムを利用しなかった理由 (複数回答可)

紙で定款を作成したから 161 件 (5.9%)
ウェブ会議システムを利用して手続ができることを知らなかったから
145 件 (5.3%)
ウェブ会議システムの操作が面倒だから 294 件 (10.8%)
ウェブ会議システムを行うための環境 (パソコン等) がないから
61 件 (2.2%)
公証役場に行くことは特段負担でないから 2,177 件 (80.2%)
公証役場又はその周辺に別の用事があったから 376 件 (13.8%)
直接公証人と顔を合わせてやりとりしたいから 475 件 (17.5%)
その他 (例:資料の郵送に時間がかかるので公証役場に持参して手続をし
た方が早いため。オンラインでの手数料の納付が煩雑なため。等)

■ 公証役場での待ち時間はどれくらいでしたか。

なし 1,031 件 (38.0%)
5分 438 件 (16.1%)
10分 507 件 (18.7%)
15分 387 件 (14.2%)
20分 175 件 (6.4%)
25分 37 件 (1.4%)
30分 112 件 (4.1%)
それ以上 29 件 (1.1%)

■ ウェブ会議システムを利用した理由 (複数回答可)

ウェブ会議システムの方が便利だから 298 件 (84.9%)
その他 (例:遠方のため。ウェブ会議を試してみたかったため。等)

■ ウェブ会議システムをスムーズに利用できたか

できた 340 件 (96.9%)

できなかった 11 件 (3.1%)

→ スムーズに利用できなかった事案について、例えば、以下のような回答があった。

- ・ ノートパソコンでは何度やっても接続できず、スマホから接続した。
- ・ いつも問題なく対応できていたが、同じ環境にもかかわらず音声が届かないという不具合があった。
- ・ URLにログインしたが、公証人とつながらなかったため、再度URLを送ってもらった。

■ 面前確認は公証人本人が対応していたか

はい 3,021 件 (98.5%)

いいえ 28 件 (0.9%)

分からない 18 件 (0.6%)

■ 面前確認の所要時間

5分 1,786 件 (65.8%)

10分 758 件 (27.9%)

15分 324 件 (11.9%)

20分 112 件 (4.1%)

25分 17 件 (0.6%)

30分 62 件 (2.3%)

それ以上 8 件 (0.3%)

■ 面前確認の予約は、希望どおりの日にとることができたか

できた 2,919 件 (95.2%)

できなかった 65 件 (2.1%)

予約を行わなかった 83 件 (2.7%)

■ (希望どおりの日にできなかった場合) 何日後になったか

1～3日後 38 件 (1.2%)

4～6日後 15 件 (0.5%)

7～14日後 11 件 (0.4%)

15～21日後 1 件 (0.0%)

22日以上後 0 件 (0.0%)

■ 実質的支配者の申告についての指摘の有無

あり 228 件 (6.4%)
なし 3,306 件 (92.4%)
申告対象外 34 件 (0.9%)
発起人に任せていたため分からない 11 件 (0.3%)

■ 申告受理証明書の交付の有無

あり 3,012 件 (84.2%)
なし 414 件 (11.6%)
発起人に任せていたため分からない 119 件 (3.3%)

■ 申告受理証明書の交付通数

1 通 2,869 件 (95.3%)
2 通 105 件 (3.5%)
3 通 35 件 (1.2%)
4 通以上 3 件 (0.1%)

■ 申告受理証明書の提出先 (複数回答可)

金融機関 2,324 件 (77.2%)
その他 (例: 税務署、法務局 等)

■ 申告受理証明書の交付を請求しなかった理由 (複数回答可)

証明書を使う予定がなかったから 315 件 (76.1%)
そのような制度があることを知らなかったから 88 件 (21.3%)